

令和元年8月21日ひめじ創生カフェで参加者に作成していただいた「まとめシート」のアイデア・提言一覧

ジャンル	番号	①タイトル	②「コト」の実現のために必要なこと	③実現のための具体的な取組み
イベント	1	私はひめじが「全て」の人が活動するまちになってほしい 私は超人スポーツとか最新のテクノロジーを活かしたイベントや個人のスキルを活かしたイベントを実現したい	イベントを行うにあたっての予算の確保や、近隣地区等の協力の要請、交通規制等が必要であれば、その働きかけを行う。また、参加者を集めるためのPR活動、運営場所、スタッフが必要。運営の際に専門性を発揮できる人材も必要。	予算の確保は、クラウドファンディングを主に利用し、必要なお金を集めるその際、企業等ともタイアップする。 開催場所は大手前通りや大手前公園、学校の運動場、寺、神社を想定。 自治会等にも協力をお願いしに回る。広報として、SNSを主に利用。
	2	私はひめじを「イベントで盛り上げたい」 →私はひめじで「ライブハウスが増える」ことを目指す	ライブハウスをつくるには、音や治安に関する問題が発生するので周辺地域に理解をしてもらうのが必要。防音などの設備が整ったたても・施設を探す。使用する地域アーティストへの声かけをして、音楽・人(等)の力を合わせてつくる。	ライブハウスの経営をしてくれる人を探す。 使用するアーティストで支援金を募る。 支援金が足りない場合、クラウドファンディング!!
	3	私は姫路がたくさんイベントを行う町になってほしい (私は姫路でさまざまなフェスやライブを実現したい)	このライブなどを実現するためにはまず、アーティストの方に来てもらう必要がある。そしてライブ会場となる広い場所を見つける必要がある。	これらを実現させるためには姫路市にある広い場所を探し確保する。また、イベントを行うにあたってそのイベントの宣伝などをする。
	4	姫路が「常に大・小関わらないイベント」であふれるまちに	・イベント可能な場所の明示・低料金 ・大型イベントの誘致 ・イベントの育成 ・どこで何のイベントをやっているかわかるものを駅前設置 ・最低限のハード整備	今ある環境で実施できる所から取り組む
	5	楽しく過ごせる街になってほしい そのために、多くの人が楽しめるイベントを開催したい	・古着フェス、キャンプフェスなどイベントの計画 ・開催場所を探す(空き家など) ・なるべくお金をかけない工夫をする ・参加者の募集・協力者を集める・広告	・場所探し(商店街の空き家、廃校など)・情報発信・クラウドファンディング・地域の方の協力を得る
	6	私はひめじでファッション活動をしてほしい	外国人の案内、お金、企業との連携	チラシ配り、ネット宣伝、新聞に宣伝のお願いをすること
	7	私はひめじがイベントが盛んなまちになってほしい	姫路市の高校・大学が部活動や文化について様々な情報が交換でき学校同士が連携をとれる団体を作る。イベントを行う大きな会場とイベントで披露するものの練習ができるフリースペース。イベント会場までの便利な交通手段。	サイトを設置して支援金を集める。空き家や空き地を整備して広い土地を確保する。
	8	私は姫路がイベントで多くの人を呼びにぎやかになってほしい	・イベントができるお金と場所と時間が必要 ・イベント会社との共同推進 ・イベントを行うために必要な案内人	・目を引くような宣伝ポスターの作成・SNS、口コミでの宣伝
	9	私はひめじが元気なイベントがたくさんあるまちになってほしい	主体となる人達を決めて、「資金はどうするか」「場所は？」などを話し合う。	・色々なイベントに足をはこび、横のつながりを増やす。 ・SNSで拡散を促す。・クラウドファンディングで資金を集める。
	10	私は姫路の「良い」を広めたい!!! 人が集まるイベント	1.広い場所(車イスの方でも楽しめる)→姫路城前、駅前のスペース 2.商店街、飲食店、アーティストとの協力 3.イベント情報、専用サイト 4.準備からたくさんの人に協力してもらう →効率up、一緒に準備することで一体感	SNSでのPR=公式の専用アカウント(twitter,insta)を作って宣伝 商店街、飲食店、アーティストへの依頼 ポスター等の作成 市への協力依頼 その他)映画館でライブ映像 姫路のグルメ 古着のフェス(人が集まりそう)
	11	私は姫路が“全国から人が集まる街”になってほしい 私は姫路で日本最大級の音楽フェスを実現したい	人:地元をPRしようと頑張っているアーティストを呼ぶ(プロ・アマ問わず) 場所:文化コンベンション等、駅近の利便性を生かす 日程:人が集まりやすい時期 広報:広く知れ渡る媒体の活用	文化コンベンションのオープンに合わせたイベントの1つとして実施する
	12	私は海外で体験したバギー体験を日本でやってみたくらいから	初めに広い土地や起伏が盛んな土地が必要で、姫路はそういう土地が多いように感じました。また、話題性や継続性がないと利益も出づらいので、アクティビティ好きの間で流行させて、一般の人や、子ども連れの家族など安易に利用できるようにしていけばよいと思います。	バギーのインストラクターが一番大切。陽気な人じゃないとお客さんが楽しめないから。 また、話題性という観点でインスタグラム、ユーチューブなどで注目をあびる必要もあると思います。 できるなら、複合型で他のアクティビティもあればよいと思います。
	13	ひめじでフェス	・姫路市に協力してもらい会場の確保。 ・出演していただくアーティストさんへのブックイング。 ・フェスをするにあたりたくさんスタッフさんが必要になるので、姫路の学生さんなどにボランティアでお手伝いをお願いする。	資金集めはクラウドファンディングなどを利用する。 資金をなるべく少なくするためにスタッフはボランティアでお願いする。
	14	私はひめじが「若い人にとってのあこがれ」となるまちになってほしい	私は姫路で「若い人が夢中になるアーティストを招いて野外フェスの実現」を目指します。	—
	15	私は姫路に他県からもっと人が集まる町になってほしい! そのために、「大きな音楽イベント」を実現させたい!	・資金・会所or場所・人件費・キャストオファー	・クラウドファンディング・キャストイング・スタッフ手配・場近での会場・SNSでの情報発信・タイトル&音源・自治体への申し込み
	16	私は姫路が人が多く集まりにぎやかな町になってほしい そのために、〇〇甲子園や〇〇大会などの全国から人が集まれる場所やイベントを実現したい	人が多く集まる音のできる場所を、空き地や改築を活用して作る必要がある。大型のドームをつつ作ってみたりすると、いろんな事で使えるので良いと思う。	1番目は土地の開拓とお金であり、姫路市にイベントや施設を作りたいなどの意見を出してみることがいいと思う。 2番目は、情報発信であり、SNSなどで人が集まる呼びかけをするという取り組み。
	17	私は姫路が多くの方に住みたいと思ってもらえる町になってほしい イベントなどの活動	・イベント実現のために広い土地、会場 ・技術面でのスタッフなどの人員 ・予算、イベントなどをしてくれる会社など ・イベント会場への行きやすさのためから、交通面	インターネットからの呼びかけ クラウドファンディングなどで呼びかけて予算を集めて、→特典などをこちらが出す

令和元年8月21日ひめじ創生カフェで参加者に作成していただいた「まとめシート」のアイデア・提言一覧

ジャンル	番号	①タイトル	②「コト」の実現のために必要なこと	③実現のための具体的な取組み
イベント	18	私はひめじが若い世代がより楽しめるまちになってほしい そのために、私はひめじでライブやフェスを実現したい	・姫路城の前の広場などの広い場所を確保し、アーティストを呼ぶ。 ・お金を集める ・人を集める	参加したいイベントの種類をアンケートで決め、より多くの人を集める。また、ネットを使って企画紹介や参加者を募集する。ネットを活用することで必要なお金を最小限にして、必要なお金は、クラウドファンディングで集めたり、市に協力を求める。
	19	私は姫路がもっとにぎやかな町になってほしい そのために、私はひめじで娯楽イベントを実現したい	お笑いライブをするのに芸能人を呼ぶことを考えるとお金が必要になります。土地や人件費はもちろん、客寄せするためのチラシをつくる制作費が必要になる。 また、その土地を借りるのにルールも必要になりますし、人が多くいる時間帯でないと人も寄ってこないと思う。	なので、姫路駅周辺での署名活動の呼びかけやインターネット内でSNSやツイッターなどで呼びかけていこうと思う。 また人が足りない場合もあれば町の人たちの協力をあおいでもらおうと考えている。 また、芸能人にも予定があると思うので事前にアポイントを取る。
	20	姫路市をイベント豊富なまちに!!	・手柄全域鬼ごっこ ・工場見学スタンプラリー ・時代限定のコスプレなどのイベントを増やしていくこと。 そのために市の方や工場の方、市民の協力、場所の確保が必要。	お金やアンケートを取ったりする。 イベントに関わる方をお願いをしに行く。
活性化	21	私は姫路が笑顔であふれる街になってほしい!	そのために若い世代からお年寄りまでが楽しめるテーマパークやレジャー施設を姫路で提供したい! <テーマパーク>・テーマパークのキャラクターを地域住民で考える <マリンスポーツ>・海の水をきれいにし、汚さないよう協力・そうじ活動 <姫路ドーム>・高校生やバンドの人が自由に使えるよう予約制にする	・今現在使用していない空き屋や土地の回収or購入 ・市、高校、大学、企業との連携をとって管理やイベントの実施をあする ・募金などで資金を募る ・交通網の発達が必要
	22	私はひめじが外の人も来たいと思うまちになって欲しい 私はひめじで「家島を知ってもらえるPR」を目指す 私はひめじで「アートイベントやワークショップ」を実現したい	家島の情報発信や空き家調査、協力者を作る 人脈づくりなどをする	・SNSでPRをしたり、空き家の情報を知ってほしい人から教えてもらう ・協力者が集まりそうな場に積極的に参加する
	23	私はひめじが遊び場に困らないまちになってほしい	・大きなライブ会場ができてほしい ・スポッチャのあるラウンドワンがほしい ・若者で盛り上げられる場所がほしい ・きれいな夜景が見れる場所が知りたい ・ボルダリングのできる場所がほしい ・ワンコインや、1000円以内で遊べる施設を増やしてほしい ・自転車で行ける距離だったり、すぐに遊びに行ける場所をふやしてほしい ・若者をもっと呼び込んだり、これらの施設を作る為の場所の確保 ・交通手段の強化、建設用の確保	姫路の良さをもっとアピールし、ネット等を活用して、人を呼び込む 費用の集め方としては、募金しか思いつかないが、それらの方法で集めたりして、お金を集める 姫路はパチンコ屋が多いので、つぶしてスペースの確保
	24	私はひめじが活気溢れる街になってほしい 私はまず姫路の文化振興を更に促進したい	本市が活気溢れるために、若者が一堂に会するイベントの考案 個々人が普段恥ずかしく、積極的にには出せない特技を披露する場を提供するなど、文化振興をまず促進したい そこで必要なのは、場所(土地)、資金、交通手段、協力団体、住民の理解及び協力、外国人への対応、広告などが考えられる	まずどこで行うかを検討(市民等の意見を聞く)し、次にどれだけの資金が必要になるのか見積りを取り、次にどこの団体が協力してくれるか内容を周知して検討し、次に行う場所にお住まいの方の理解を得るための説明会を開き、次に来客者(特に外国人)の対応方法を考え、準備が以上で、できたら広告し、集客活動等に移る
	25	私は姫路が人々が繋がる町になってほしい その為に、空き家を活用し、世代交流カフェやグローバルカフェを実現したい!!	・外国人観光局、留学生 ・空き家や閉店しているお店など、活用できる建物 ・商店街との連携 ・地域企業、大学等の協力 ・運営のための資金集め	1.学生や教員に協力してもらう 2.商店街のお店の方や、空き家の持ち主に交渉する 3.地域企業と協力して広告などのPRをする 4.旅行会社にプランの一つとして取り入れてもらう
	26	私はひめじが流行を取り入れた今を楽しめるまちになってほしい	・おしゃれなカフェを作るのに従業員を女性や外国人などを雇う ・駅の近くの～通りのどこかにつくる ・今の流行を取り入れる(食べ物や服など) ・SNSでPR(インスタやツイッター)	・インスタに写真を投稿、そのときに#(ハッシュタグ)をつける ・今の流行を知る機会をつくる ・外国人、たとえば韓国人などから異文化を取り入れる
	27	私は姫路が文化やスポーツ共に盛んな市になってほしい	・CDショップや楽器屋、スポーツ用品店等の専門店が充実している ・交通の便が良く、分かりやすい場所にある広い土地 ・まちに住む人の文化やスポーツに対する関心を高める	・企業や市、学生が連携して音楽・スポーツ教室を開校し、市民が体験できる場所づくり ・GIS(地図)等のサービス・アプリ(SNS)の活用
	28	私はひめじが「特別」なまちになってほしい そのために姫路城での授業を実現したい	そのためには行政の許可や教育機関との連携が必要で、また、その意味を広く宣伝することが必要です。	授業を行うにはそれに見合った「内容」が必要で、地域の教育機関や播磨地域を対象とした研究をしている教授等とコンタクトをとり、その意義を行政にアピールする必要があります。また、実施にあたっては継続的に行う枠組みにするために資金の手当てとして「募金」「行政の補助」「修学旅行コースへの採用」「企業スポンサー」等の取り込みが必要です。内容に賛同して頂ける人をさがし、各方面に働きかけていきます。
	29	私はひめじに人が集まる様になってほしい まずは女性から…	ご当地コスメの開発 ゆず、日本酒、生姜などを使用 ↓ 化粧品会社に協力してもらう	生産者からメーカーへアプローチする 開発できたらSNS等で広告!
	30	私はひめじおしゃれな街になってほしい	駅から徒歩圏内の場所でお店を開ける経営者の募集・育成と、お店の存在を市民や観光客に知ってもらうための広告・宣伝	新聞や地域雑誌等で情報収集
31	私はひめじがおしゃれで居心地の良いまちになってほしい!	<日曜日のAM、広場でマーケット> →ヨーロッパのオシャレなマーケット ・広場の開拓 ・マーケット開催会社を探す、そして依頼 ・インターネット、SNSによるPR活動と出店者の募集 ・姫路市と連携、承諾を得る	左記のように、それぞれ委託、依頼が必要となる専門会社を探し、話す。 PR活動のため広告会社に依頼し、SNS映えのためインスタグラマー等にも協力してもらう。	
32	私は姫路が“市民が誇りを持てる”まちになってほしい 地元女性が商品開発したお菓子“Himeginger”がお土産No.1に2025年になることを目指します!!	先ずは1人でも多くの人に“Himeginger”お菓子を食べてもらう!! より多くの場所で“Himeginger”を目にしてもらえるよう営業広報活動に力を入れる!! ◎販売拠点強化	・名刺、チラシ、パンフレットを刷新する! ・人から人へ伝える、伝わる仕組みづくり ・リピーター、強いファンとのコミュニケーション強化 ・コラボイベント開催	

令和元年8月21日ひめじ創生カフェで参加者に作成していただいた「まとめシート」のアイデア・提言一覧

ジャンル	番号	①タイトル	②「コト」の実現のために必要なこと	③実現のための具体的な取組み
活性化	33	私はひめじがもっと皆で楽しめる街になってほしい	・海のレジャーが中途半端なので、もっと発展させていく ・家島という魅力的なスポットをもっと発信する	—
	34	私は姫路(家島)がもっと皆で楽しめる場所になってほしい	家島には美しい景色や海がある。しかし、現状、その魅力を伝える事が出来ていない。そのため、家島トライアスロンを行うことで、多くの人に家島の魅力を知ってもらい、皆で楽しめる場所にしていくことが必要。	マラソン、自転車、水泳のコースを確保。このために島民など関係者から許可を取る。参加者はPR動画やポスターを作成し、駅前やスポーツ施設へ展示する。SNSも活用し発信。交通手段は30分に1本程度のフェリーしかないので15分に1本にできるようにして回転率を上げる。選手の受け入れ施設や練習場所の確保も行っていく。
	35	私は姫路で1日中楽しく過ごせる街になってほしい そのために、私は姫路に娯楽施設を誘致したい	・VR施設のコンテンツとなる情報・資源を収集 ・VR体験施設の設置 ・参加企業への広告	・土地の確保 ・市、県(住民)からの金銭的補助 ・施設建設の必要性の説明 ・廃校の利用
	36	私はひめじが若者がとどまるまちになってほしい	①バスケやテニス、サッカーといった大人数で出来るスポーツができる場所が必要 ②また、花火ができるよう防災面も考えることが必要となる ③ダンス甲子園を姫路で行う	参加学校を呼びかける。どのくらい面積がいるのか。 土のコート？芝のコート？によって、工事面も変わる→工事会社と行政の協力が必要となる。
	37	私はひめじが自然豊かかつ活発なまちになってほしい	海への交通をより便利にし、地元の人でも他地域から来た人でも、すぐ海へ行けるようにする。安全面で安心していただくために、海岸は常にきれいに保ち、砂浜の部分(利用スペース)を拡げる活動を行う。イベント等を実施する際は、様々な店舗の協力も必要。	積極的にボランティアに参加し、きれいな海を保つ。クラウドファンディングを行ない、イベント協力者を集める。また、地元の海の良さや問題点をより詳しく知るために、海の家の方達に直接話を聞くことも、海の活性化につながると思う。
	38	私はひめじが人がいっぱい来るようなまちになってほしい	インスタベのスポットや歴史のことをくわしく知ってる人がいれぼうれしい。気軽にいけるお店があれば人がいっぱい来そう。	色々な施設に写真を撮るスペースがあればありがたい。歴史の事はボランティアを募って歴史の深い話をするとうありがたい。安い店やテイクアウトやキッチンカーが何個かあれば人がいっぱい来て、お昼に買いに行けるオフィスの人たちが助かる。
	39	私はひめじが若い世代が集まるまちになってほしい	広告やSNSなどを用いた宣伝によって、たくさんの人に知ってもらうことが必要	・たくさんのお店に実際に行く(どのような店があるのかを知る) ・SNSで発信 ・姫路の名産を知る
	40	私はひめじが話題性のあるまちになってほしい	話題となる場所を作るには土地がいる。話題にするには、今、流行しているインスタ映えを取り入れてSNSにアップする。様々な人の目にとまるような場所や物を作らないといけない。	今、実際に流行している場所に行き、共通点などを見つけて、要素を取り入れる。SNSにアップすることで、多くの人が目にするため話題性が生まれると思う。
	41	姫路の夜の街を活性化させたい!!!	・終電をもっと遅くする。(JR) ・みゆき通り付近のお店の閉店時間を遅くする。	お店の閉店時間を遅くする。→人が増える。→JRの終電が長くなるかも…?
	42	私は姫路が一日中活発な街になってほしい	日中は活発なイメージがあるため、夜の活発がカギになると思う。夜も活発な街にするためには、24時間あいているお店を増やすことが重要で、それにより観光客などいろんな人にお金を使ってもらえて街がより活発になる。24時間空いているお店を増やすには、夜22時以降でも働ける20才以上の人材・運営の為に資金などが必要。また、終電、終バスを延長させ、少しでも長く楽しんでもらえる工夫が必要。ナイトイベントや音楽フェスなどを行ない、お店に寄ってもらえるようにする。	ひめじマップを作り、オススメのお店などをアピールする。 交通機関の拡大を行ない、少しでも長く楽しんでもらえるようにする。 地域の人みんなで協力し合い、治安を保つようにする。 ナイトイベントや音楽フェスなどイベントを増やし、姫路に足を運んでもらう機会を増やす。
	43	姫路で商店街を使った企画がしたい	・運営する人(企画する人も) ・参加店舗 ・取り組みを知ってもらう ・商店街の協力(利用者の人も)	パターン①高校生などの若者が主体となり、キャリア教育の一環として市などと協力して行う。 パターン②僕(南智貴)が主体となり企画運営を行う。 パターン③姫路市在住の10~70歳の人で、世代別に数人ずつ参加してもらい企画してもらおう。
	44	私は姫路が自虐で終わらないまちになってほしい 私は姫路で姫センの活性化を実現したい	今、姫路セントラルパーク(通称:姫セン)は、インターネット上の自虐サイトを通じ、若者に向けて体当たりのPR活動を頑張っています。しかしながら実際の施設は古びている箇所も多く、若者(特に他県から来る人)の心をつかむまでにはまだまだ弱いと考えました。若い層に向けて、施設内をクリーンにし、姫セン内で“インスタ映え”するスポットやイベントを増やしていきます。	クラウドファンディングを募り、対象の方には姫セン内での特別な体験を特典として楽しんでいただけます。 例としては、ライオンの赤ちゃんを抱っこして記念撮影をするなど、動物もいる遊園地である姫センならではの特典をつけます。
	45	私は異文化共生できる姫路になってほしい そのために、海外をもっと身近にするのを目指す	★古民家を利用した異文化バル ・観光客を増やす ・姫路市在住の外国人に呼びかける ・古民家までの交通経路を確保する ・協力してくれる古民家やカフェ、バルを探す ・異文化交流に関心がある姫路市民を募集する	・DMや駅前の大画面などを使った視覚的誘致を行なう ・SNSによる告知 ・開催地、開催店舗を決定する ・海外、日本の流行をチェックして取り入れる ・協力スタッフを募集する
	46	私は姫路がより多くの人呼び込める町になってほしい そのために、私は駅の近くに観光スポットや遊べる場所を実現したい	・遊びの場やいこいの場などの施設を建てる。(ラウンドワン、あかねの湯) ・観光スポットをつくる	・市役所などに申請する。 ・SNSでどういった施設があればよいかアンケートを取る。
	47	市内、中高生の団体が使えば広場の質が向上するのでは。	姫路市内の中学校、高校の吹奏楽部や西播磨吹奏楽連盟とつながりを持っていく。月一回の開催を目標に。駅北広場を使う。そのためにお金が必要。お金は参加費でまかなうか？ つながりは吹連だけでも良いかも。	月1回のために出演者を募る。顧問や吹奏楽連盟に集まってもらって日程等を調整する。
48	私は姫路が1日中楽しめるようなまちになってほしい	駅前には、1日中遊べるような店や施設がないため、駅前の土地、観光客が、姫路城以外で立ちよれるような施設を作る土地。	若者向けの新しい店や施設をつくる。 動物園や水族館などで体験型のイベントを行う。(動物園や水族館の改装) SNS(twitter、インスタ)などでの話題づくり	
49	私はひめじがお酒で有名なまちになってほしい 姫路で酒蔵巡りするのを旨す	姫路駅から酒蔵までは交通の便が悪いので、シャトルバスを運行する必要がある。(飲酒運転を防ぐためにも) シャトルバス運行には人材やお金が必須のため、最初は予約制にする等必要最小限の行動から始める。	今現在、“日本酒を楽しむ会”等、行われているので、そこに参加し、SNSで広報するなどして参加者を増やす。 そうすることで日本酒協会にお金が集まるのでシャトルバス運用予算が拠出できる。 実際にシャトルバスに乗り、酒蔵巡りをし、その様子をSNSで拡散することで利用客が増えるのではないかと考える。	

令和元年8月21日ひめじ創生カフェで参加者に作成していただいた「まとめシート」のアイデア・提言一覧

ジャンル	番号	①タイトル	②「コト」の実現のために必要なこと	③実現のための具体的な取組み
観光	50	私は姫路が外国人(観光客)にとってやさしいまちにしたい	・姫路の有名スポットについて英語で話せる人を増やす ・英語で対応可能なスポットのピックアップ ・英字標識・地図の設置を増やす	・姫路市内限定の観光通訳ボランティア、または講習。困っている人がいたら、すぐに助けられるように。 ・多言語で使用可能な観光・レジャーのマップのアプリ配信。クーポンや詳しい説明が見れたりしてもよい。 ・小中学生の自由研究等で、姫路の歴史等を調べ、まとめることを推奨する。英語でグループワークのテーマにする。
	51	私はひめじがもう1度行きたいまちになってほしい	・いつ、どこに行くのでもアクセス便利 ・何度来てもSNS映えするスポットがあり、あきない ・日本語が分からなくても安心	主に、PR活動が中心となる。情報を発信するだけではなく、常にトレンドのモノ、コトにアンテナをはる必要がある。
	52	私はひめじが一泊以上してもらえるまちになってほしい 私はひめじの観光資源を発掘する！	娯楽を増加(夜あいているバーやインスタ映えカフェ、ポーリング、岩盤浴)させたり、ご当地グルメの考察、秘められた観光スポットの注目度アップ・PRに貢献すべき。	地元の企業や施設に呼びかけ自治体さんにイベントの提案、自ら探検し、魅力を見つける。
	53	私はひめじがゆっくり過ごして楽しんでいただける街になってほしい	姫路城の三ノ丸やまちなかに映画村のようなテーマパークを作る	みんな(行政・市民・事業社等)で考える場を作る
	54	私はひめじが自然を肌で感じれるまちになってほしい	場所とお金を確保し、フォレストアドベンチャーやグランピング施設を作る。	場所の確保:地域の人に協力してもらい場所を作ってもらおう お金:市の協力やクラウドファンディングを利用する 食材など:地産地消が出来るような形を作る
	55	私はひめじが「県外の友だちを呼びやすい街」になってほしい	・ひめじらしさのある宿泊施設の設置→空き家の活用etc ・交通機関活用の工夫→カーシェアリングの充実etc	・空き家の情報収集 ・資金集め(賃借料、運営費、リフォーム費・・・) ・空き家選定 ・リフォーム ・備品や家具業者 探し 購入 搬入 設置
	56	姫路城をピンク色に塗ってみた "しらさぎ城"が"ピーチ城"に	現状では捕まってしまうので法改正が必要。また、「姫路城＝白」というイメージが強いため、地元住民との合意形成も必要となる。その他、塗料や専門家、多額の費用負担が発生。	姫路城＝白というイメージから脱却すべく、姫路のまちを走りまくっている神姫バスの車体をすべてピンク色に変えてしまう。デザインも一新。法改正はどうすればよいのか分からない。署名活動を行ったり、議員さんとうたえるとか?
	57	私はひめじが1日中楽しめるようなまちになってほしい そのためには、古民家を活用した宿泊施設をつくる	古民家の整備を行ない、泊まりやすい環境をつくる。また知ってもらうために宣伝活動を行う。	—
くらし	58	私はひめじに若者の選択肢が多い街になってほしい そのために教育の幅を広げていきたい	姫路内外で学生生活をすごした子たちが帰ってこれる働き場をつくる。どんな環境でもやりたいことのため、自分の選択肢をえらぶことができる教育の環境を作る(ソフト・ハードともに)そのためには、より幼い時の環境を作ってあげることが必要。親にも色んな環境があるので、教育組織・行政のソフト面が重要かと。	・幼児をもつ親(特に外に出ていけないようなママたち)に対しての育児支援、教育支援 ・小～高における選択肢を見せてあげる
	59	私は姫路が子どもで活気あふれてほしい	親世代に子育てがしやすいそうだなと思わせる環境をつくり、今までよりもっと人を集めてきて、教育支援を行う	人を集めるためにも、ほかの市やほかの県の人も見るような場所で姫路のPRをし、勉強のしやすい環境、場所を身近なところにつくったり、学割を今までよりもきくようにし、そして子育てをする親への金銭での支援をもっと増やす
	60	『好きな気持ち』を濃縮させた狭い分野で活動し、楽しみながら生活できるコミュニティーがあるまち	・創ることを娯楽にすることができる仕組み ・コミュニティー参加者がセカンドクリエイターになれる仕組み	・建物(ビル)が必要 ・階ごとに異なるコミュニティ ・姫路に今あるモノが新たなモノに創り変えられる仕組みを設定(これを娯楽にする) ・それに従い、コミュニティに集まる市民の好きな気持ち(アイデア)が毎日形になる ・そのアイデアを持って若者を企業させる
	61	私は姫路がみんなの夢をかなえる町になってほしい	必要なこと ・みんなの使える自習室 ・ルール作成 ・意識の醸成	・実現可能性調査 ・試行運用の要望活動
	62	私はひめじが住みやすいまちになってほしい そのために「ひめじを事故の少ないまちにしたい」	人の目につくような大きな看板や車に乗る人も車内ナビでの案内が必要だと思う	・多くの人たちと協力しての募金、署名活動 ・高校生たちによる大きな看板作り
	63	私はひめじが安心安全な町になってほしい	駅前の再開発によって姫路の駅前是非常にキレイになったように思われます。その一方で交通への意識・イメージがうすく悪いようにラウンドを通して感じました。よって特に「交通」に注視し、歩道の整備、自転車専用道の設置などが必要であると考えます。	個人の意識向上を求めて自身が所属するラジオ局での交通事故啓発CMの推進の他、自転車道の設置に関しては、県・市への予算獲得の呼びかけを行う。
	64	私はひめじが学費無料なまちになってほしい	—	—
	65	私はひめじがもっと住みやすいまちになってほしい そのためには、私はひめじで学費無料を実現したい	学費免除という事は税金を使うという事になると思うので、市民の理解を得る。	署名活動を行ない、市に援助を求める。
	66	私はひめじが学生にとって住みやすいまちにしたい	(市外の人)みんなが使える自習室が必要 ・場所の確保(学区に近く、駅近く) →図書館の2階・公民館・児童館・市民センター ・資料を充実させる(パソコン使用可・問題集)	☆学生にアンケートを取る ・どんな場所が良いか ・あったら嬉しい資料、モノ、道具 ☆図書館、公民館等の中に期間を決めて自習室を設置する。(夏期休暇など) →来た人がどのくらいか結果をまとめて、今後へ生かす。
	67	私は姫路が会社員がより充実した一日になってほしい	・バスや電車などの交通時間を伸ばす ・ナイトマーケット、バルを増やす ・タクシーやバスなどの割引券の配布	高齢者に免許返納してもらい、代行サービスの活用をしてもらう。行政との協力
	68	私はひめじが交通が便利なまちになってほしい	バスの路線を増やしたり、駅以外のハブをつくる 岡山方面の新快速をつくる	新路線の提案や運転士さんの確保

令和元年8月21日ひめじ創生カフェで参加者に作成していただいた「まとめシート」のアイデア・提言一覧

ジャンル	番号	①タイトル	②「コト」の実現のために必要なこと	③実現のための具体的な取組み
くらし	69	私は姫路の学生が選挙について身近に感じられる街になってほしい	場所は、学生が多く集まる学校。必要なものは、ホワイトボード、マイク、参考資料など学校に今あるもので出来るので、お金などはかけずすぐ出来て、負担がないように。参考資料は、講師の方に各自用意してもらう。講師は現役の市議など子ども達がより身近に感じたり、今している人にする事で、より深く、広く知ってもらえるようにする。	教育委員会に提案し、チラシを配布。また、授業の一環として学べるようにしたい。講師の方には、どういった活動、取り組み、また、自分がしている、しようと思っていること(政策)を話してもらう。 姫路の学生が選挙について、投票前に知ることで投票率をupさせたい。
	70	私はひめじが便利なまちになってほしい	市民の声を聞き、バス会社などの協力などを得ることが必要。	市民への呼びかけを行ない、署名などを集める。行政からの協力が必要となる。
	71	公共交通機関が拡充され夜でも活気のある街に	JRや神姫バスなどとの連携強化により神戸や三宮との間の快速の本数を増やしたり、バスの本数を増やす。特に終バスの時間を伸ばすなどする。店の夜遅くの時間の人件費の一部を市が負担するなどすることで、店の閉店時間がもう少し遅くできるようにする。	企業などにかかる負担を市が担う。
	72	理想の子育てができるまちになってほしい それぞれの段階で移住します	・自然環境、スポーツ、学業等各学校(保育園)が特色ある教育を実施できることで、それぞれの学校に魅力がある。 ・移住のための手続きが簡素にできる。 ・教育機関の情報がHP等で十分に公開されており、学校の選択がしやすい。	・情報を積極的に収集し、適切に判断する事で移住。”足による投票”を実行します。 ・移住する校区それぞれの地域性、行事等を好奇心をもって楽しみます。 ・足による投票が盛んになり、各学校が互いに切磋琢磨し、それぞれがより魅力ある教育が行われれば何よりです。 ・幼児教育→高校まで魅力ある学校があれば市外からの移住者も呼び込めるかもしれません。
	73	私はひめじがキレイなまちになってほしい そのために、私はひめじでゴミ箱の設置を実現したい	・駅周辺のゴミ箱の設置 ・ゴミ箱のゴミを回収する団体 ・ゴミ箱の設置場所 ・ゴミを処理するための費用→が、ゴミ箱を置いて自発的に捨ててもらうのには必要だと考える。 ・クリーン活動の実行委員会、ボランティアが、市民を通じてのゴミ削減において必要だと考える。	・ゴミ箱を通りの前に置く許可をもらう→お礼有り:月3千円渡すなど ・ゴミ処理会社とのゴミ回収などの契約→1日〇回 〇時など ・クリーン活動実行委員会の設置→自治会などの協力 ・ボランティアを募る→参加費など ・協力してもらうために工夫をする→参加者をチーム分けして、拾ったゴミの重さが大きいほど商品プレゼント(pioloポイント)
	74	私は姫路が高齢者にやさしい街になってほしい (目指す)雇用機会を与える (実現)外の世界とふれあえる	平均寿命がどんどん長くなり、出生率がどんどん下がる今、「高齢者」は貴重な“労働力”であり、人生のセンパイとして“尊重”されるべき! 働く場所(雇用機会)を増やすため、高齢者がより自由にいろんな所に足を運べるよう車社会である姫路で“カーシェア”の実現をし、働きに行ける。外の世界で触れ合う機会をもっと増やす。	タクシー、バス、電車以外の交通手段として“カーシェア”。運転に自信がない、免許返納した人には、自家用車での送迎などの仕組みを整備する。 ゆくゆくは... 自動運転車の整備も必要。→出資者を募り⇒ 研究する場所の提供 ・予算の捻出 をする。
	75	私は姫路が便利な移動しやすい町になってほしい	電車やバスの本数を増やすためには、鉄道会社やバス会社の協力、あるいは新たにそうした運営会社を設立することが必要であり、姫路の人口が増えたと、より実現に近づくのではと考えた。	利用者がいないと運営できないので、駅周辺以外のスポットを充実させたり、署名活動等を行い、市や社会にアピールする。(市民の声をきく!)また協賛をつのったりして、今あるものをより良いものにしたい。 人口を増やす事に関しては、移住するとメリットがあるようなもの【社会的弱者、女性や高齢者に優しい】特典を提供するのもよいのではと考えた。
	76	私は姫路が家庭的なまちになってほしい	姫路の企業や職場が家庭やプライベートを重要視する規則。 子育て支援金制度の周知や増額。 家族イベントの増加 高齢者が移動するための公共交通	市からの援助 公共交通の協力
	77	私はひめじが安心安全に住めるまちになって欲しい 私はひめじで全ての道路にガードレール設置を実現したい	総合計画第4分野における「防災・安全安心」項目に、ガードレール設置計画を含める必要がある。	昨今の交通事故、自動車のアクセル、ブレーキ踏み間違い、高齢者の事故等から人々を防災する必要性を役所、議会等へ訴える、発信する、意見する。
	78	私はひめじが“交通面で便利なまち”になってほしい	通勤・通学の費用をもっと安くするために、市民の声・要望が必要である。また、交通機関同士の連携も重要な点である。	市民の声、要望を集めるために動画等を作成し、交通費が高いことで一人暮らしを選択し結果的に人口の減少につながるなどのデメリットをアピールし、WEBサイトなどで発信する。 動画の作成・発信には企業の協力も必要になることを視野に入れる。市民の声・要望を集めることができれば行政へ依頼する!
79	私は姫路が医療が充実してるまちになって欲しい そのために、私は高齢者が住みやすい環境を目指す	実現のためには、お金と広大な土地が必要であり、また、スタッフ(医療従事者)の人数も必要である。	具体的な取り組みとしては、はじめはバリアフリー化など高齢者が安心してらせるまちを目指し、また、税金の増加や署名活動によって、より充実した医療を実現出来ると考える。	
食	80	グルメで姫路を元気に!! グルメで姫路を有名に!!	・姫路おでんのような名物グルメの開発 ・朝まで飲み歩きできる店 ・〇〇といえば姫路というお土産	姫路の飲食店と協力し、名物グルメを開発する
	81	私は姫路を(人・食に対して)「オープン」な町にしたい!!	実現のために必要と考える“3要素” ①投資(お金):個人での資金づくりは限界があるため(企業の支援が不可欠) ②わだいなせい:姫路に行きたい、姫路グルメを食べたいと思ってもらえるような「きっかけ」作りが不可欠 ③環境整備:姫路の中だけでなく、外からたくさんの人にきてもらえるような仕組みづくりと、受け入れる体制が不可欠	①投資:企業に支援したいと思ってもらえるような仕組み作り、プレゼンテーション(市とも連携したプレゼンテーション) ②話題性(宣伝):参加してくれる飲食店、そこで働く人材を募集することはもちろんのこと、姫路でしか経験できない“only one”を発信する【ex.インスタ、twitter等】 ③環境整備:鉄道会社や市民と連携した整備(移動手段の確保)
	82	私は姫路が「グルメ」なまちになってほしい そのために、遅くまで開いているお店を増やしたい	駅から近い場所で、遅くまで働くことのできる人を探す。(大学生等)	後輩に声をかけるなどする
	83	私は姫路がグルメな街になってほしい	・姫路グルメ(姫路おでん、ひねぼん...)を多くの人に知ってもらおう ・姫路グルメを食べる機会(イベント等)をつくる ・県外の人に知ってもらおう	・PRする(SNSで発信) ・イベントを開催する ・姫路市民が他の人にも伝える、教える
	84	私は姫路グルメを全国に知ってもらいたい そのために、姫路グルメをPRしていく	・PR活動を行う ・姫路井作製 ・イベントに出店する	・姫路のグルメを集めて食べてもらうようなイベントを開催する。 ・B級グルメの全国イベントへ出店する。 ・料理人さんと一緒に姫路丼を考案してイベントに出す。 ・姫路グルメのCMで宣伝する。

令和元年8月21日ひめじ創生カフェで参加者に作成していただいた「まとめシート」のアイデア・提言一覧

ジャンル	番号	①タイトル	②「コト」の実現のために必要なこと	③実現のための具体的な取組み
食	85	私はひめじが手軽に食べれるグルメがたくさんあるまちになってほしい	—	—
	86	私はひめじが伝統野菜を応援するまちになってほしい そのために、私は姫路若奈が姫路の食の代表の1つになることを目指す！	育てるための場所が必要となる。 また、知名度がかなり低いので地道な宣伝が必要になる。	個人の力ではムリなためJAや市を巻き込んで宣伝をしていく。また、グルメランドなどのフェスに出店して味を知ってもらう。
	87	私はひめじが「ご当地グルメたくさん」の町になって欲しい	そのために、私はひめじで低コストで老若男女、楽しめる美味しいご当地の姫路名産物を使った、見た目から楽しめるインスタ映えカフェを開きたい！	空間の確保が必要で、カフェのための料理スキルを磨いて姫路名物を仕入れ、そして沢山の人に利用してもらうためにPRをする！
スポーツ	88	私は姫路・播磨のレジャー(海)を盛り上げたい	姫路の海を盛り上げるイベントがあればいいと思います。特に家島のトライアスロンは県外からも人をよべる大きなイベントですが、知名度の低さや交通の便があまりよくないことがネックになっています。宣伝の場を設けること、家島が気軽に行ける場所にすることが必要と感じました。	SNSで情報を発信することで、幅広い世代の人に宣伝できると思います。 フェリーの本数を増やすことで行きやすくなると思います。
	89	私はひめじが(イベントが多い)スポーツが盛んなまちになってほしい	・スポーツが出来る環境にもっと整える ・子どももスポーツが気軽に出来る所を作る ・色々なスポーツのイベントや大会を作る ・親子や友達とスポーツが出来る場所を増やす ・利用料金を安くする	・宣伝 ・みんなで声を上げる ・場所を作る
	90	姫路のスポーツを盛り上げたい (主にサッカー)そのために、高校サッカーに力をいれ陸上競技場の改修をする	・お金 ・優秀な指導者、選手	・競技人口を増やす ・優秀な人材にオファー →強くなると確保しやすくなる →市外や県外から人をよべるようになると、注目度が上がる ・お金に関しては市の協力が必要 →競技場の改修ができれば、大規模の試合を行うことができる<ヴィッセル等> →試合を行うことで市外・県外から客がくる
	91	私はひめじがスポーツを皆で楽しめるまちになってほしい!! 私はひめじからオリンピックやパラリンピックに出場する選手を輩出することを目指します!!	①実際に体験することでスポーツのたのしさを知っていただきたいので大型の競技場・体育館が必要。 ②障害者の方にも不自由なく体験していただけるように知識のある方やバリアフリーの移動車が必要。 ③実際のプロ選手との交流	①駅の近くの施設の開設 ②バス等の手配。専用車(車いす) ③ヴィクトリーナの選手との交流。 ④車イススポーツの体験イベント開催
	92	私はひめじがスポーツを皆で楽しめるまちになってほしい!! 私はひめじからパラリンピックやオリンピックに出場できる選手をたくさん輩出することを	—	—
	93	私はひめじが誰もがスポーツを楽しめるようなまちになってほしい そのために、私は姫路で運動の大切さをPRするのを目指します 私は姫路で市民運動会を実現したい	体育館や競技場など、多くの人が運動出来るような場作り	設営にあたっての企業や主催者等の周知を行なう
	94	私はひめじがスポーツが活発なまちになってほしい そのために、私はひめじでクライミングで有名なまちにすることを目指す	雪彦山のように他にも登山やクライミングで有名な山などを開拓するために、その山の管理者に許可を取ったり、登山道などの道の整備をしなければならぬ。また、登山客やクライマーを呼び込むためにサイトを開設する必要もある。 (登山口に地元の名産品を販売してもよいかもしれない)	登山道の整備にはお金がかかる可能性があるため署名運動を通して行政に働きかけたり、SNSを用いて情報を拡散したり、地元のクライミングジムへ協力を要請する。